

ハタチ、新たな門出

令和6年西脇市二十歳の集い



1月7日に市民交流施設で「令和6年西脇市二十歳の集い」を開催し、平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの皆さんが式典に参加。大人の自覚を新たにしました。

あいさつで片山市長は「西脇で生まれ育った経験や知識を生かし、自分の夢に向かって大きく羽ばたいてほしい。皆さんの多方面での活躍を楽しみにしています」と激励。二十歳の集い運営委員長の亀尾依吹さんは「これまで数え切れないほど多くの方々に支えられてきた。感謝の気持ちを伝えるとともに、恩返しをしていきたい」と話し、内橋亜美さんは「西脇を離れ、友達や家族、地域の方々の温かさを改めて感じる。一つ一つの出会いに感謝し、未来に向けて挑戦し続けたい」と二十歳の決意を述べました。

式典後には、音楽活動を行う山川壱颯さんらによるパフォーマンスや、恩師からのビデオメッセージの上映も。会場では、1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援しようと、運営委員による募金活動も行われました。

▶問合せ
青少年センター (☎22-4000)

集いの様子は動画で配信中



20年前の出来事

(平成15年度)

▶西脇市・黒田庄町合併協議会発足 ▶しばざくら通り商店会がタイムカプセルを埋設 ▶板波橋を架け替え ▶石上神社なまずおさえ神事(板波町)、荒神社のムクノキ(鹿野町)が県指定文化財に ▶阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝

